

平成25年第1回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	6番	大塚あかね (60分)	<p>1. 公園トイレの洋式化を進めよう</p> <p>(1)公園トイレの洋式化（腰掛便座設置）についての指針を伺う。</p> <p>(2)公園トイレの洋式化（腰掛便座設置）の計画と目標値について伺う。</p> <p>(3)修繕、改修時等に逐次、洋式化と手すりの設置を進めてはいかがか。</p> <p>(4)「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、多機能便所と多機能便房は増設、改築すべきではないか。</p> <p>2. 食育研究指定地区としての研究は今後どのように活かされるのか</p> <p>(1)「食育研究指定地区」としての研究の成果と課題について伺う。</p> <p>(2)「食に関する指導の全体計画」について</p> <p>①今年度の成果と課題について</p> <p>②今後の各学校での取り組みについて</p> <p>(3)食育リーダー連絡協議会について</p> <p>①平成24年度の活動内容について伺う。</p> <p>②今後はどのような活動を展開していくのか。</p> <p>(4)「食育研究指定地区」の研究テーマの一つに「学校給食における地産地消の推進」とあるが、農業生産者との連携は今後、どのように図られていくのか。</p> <p>①給食の献立作成時に農業生産者の意見を聴く機会はあるのか。</p> <p>②児童・生徒に地場野菜の旬を教える取り組みはされているのか。</p> <p>(5)「東京都食育推進計画（平成23年7月改正）」に示された取り組み指標に対しては、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>3. フィルムコミッション事業は今後、どのように進められるのか</p> <p>(1)「羽村市シティプロモーション会議」の準備会がスタートしたが、フィルムコミッションはその中でどのように位置づけられているのか。</p> <p>(2)平成24年度はどのような取り組みがなされたのか（成果と課題）。</p> <p>(3)今後はどのような体制で、事業を発展させていく考えか。</p>	2月26日
2人目	10番	小宮國暉 (60分)	<p>1. 地下水保全と水道水源の維持保全について</p> <p>(1)羽村市で行っている多摩川や災害指定井戸の水質検査に変化は見られるか。</p> <p>(2)水道水として汲み上げている地下水に、水量の減少や水質の変化等は見られるか。</p>	2月26日

3人目

12番

石居尚郎
(60分)

- (3) 地下水の保全について、どのように取り組んでいく考えか。
- (4) 水道事業における水源施設の保全について、どのように取り組んでいく考えか。
- (5) 災害等における水源施設の危機管理について
 - ①水道事業用として汲み上げている水源施設が、地震や浸水等で大きな被害を被った場合の対策は。また停電が発生した時の対応・対策は。
 - ②災害に強い水道水源としていくため、施設の改修等に取り組んではどうか。
- (6) 羽村市は、水の恵みに感謝し、限りある水資源を守り、未来へ継承していくため、地下水の保全と水道水源の維持・保全について、一体的、総合的な（仮称）“水はむら保全条例”の制定に取り組むべきと考えるがいかがか。

2. 公園施設の計画的維持管理（ストックマネジメント）の取り組みを

- (1) 羽村市が管理する公園の種類と数は。
- (2) 公園の維持管理の状況と課題は。
- (3) 遊具、植栽を網羅した公園施設の総合維持管理保全計画を早期に策定すべきと考えるがいかがか。
- (4) 今後の整備の進め方について、特に子ども達が利用する遊具については緊急度に応じた対応をすべきと考えるがいかがか。
- (5) 6町内会に維持管理費を助成している遊具については、羽村市町内会等遊び場管理費助成金交付要綱に基づき実施されているが、遊具の老朽化が進んでいる状況のもと、今後その費用負担等、関係町内会の要請に応じて頂きたいと考えるがいかがか。
- (6) 富士見公園、上段部分の芝生化については以前より要望がある。芝生はヒートアイランド現象の解消、風によるほこり防止等環境面での優れた効能はもとより、親子のふれあいや各種催し、サッカー競技にも最適な環境を提供できると考える。財源、維持管理方法を検討され実現への取り組みを願いたいと思うがいかがか。

1. 国と都と連動した景気経済対策を

- (1) 今回の補正予算、来年度の本予算における国の景気経済対策、また都の景気経済対策を羽村の施策にどのように生かしていこうとしているか。
- (2) 大規模商業施設等の出店に対応した市内商店の活性化策を、今後どのように推進していく考えか。
- (3) 商工会が実施している「はむらe市場」の状況をどのように聞いているか。
- (4) 買物に不便を感じておられる方が年々増えてきており、早急な対応が急がれる。この対策を通し、活性化が図れないか。
- (5) 新たな産業振興計画の理念、内容、方向性をどのように考えているか。

2月26日

4 人目

13 番

濱 中 俊 男
(55 分)

2. 防犯、交通安全、火災予防等の対策について

- (1) 羽村市におけるここ 3 年間の、防犯、交通安全、火災の状況を聞く。また、その増減の要因をどのように分析しているか。
- (2) 街頭防犯カメラ設置事業について
 - ① 設置場所はどのように選定していくのか。
 - ② どのような製品を検討しているか。
 - ③ 今後の計画について聞く。
- (3) 自転車対策について
 - ① 運転ルール・マナーの向上を図るための施策は何か。
 - ② 羽村駅前と小作駅前の自転車等駐車場対策をどう進めていくのか。
 - ③ レンタサイクル、自転車シェアリングに関する研究はどこまで進んでいるか。
- (4) 防犯、交通安全、火災予防等の対策を目的として、NPO 法人市民パトロールセンターが誕生した。今後の支援策について以下質問する。
 - ① NPO 法人を設立して以来 1 年半の活動をどう評価しているか。
 - ② 市民からの感謝とともに期待が高まっている中、羽村市として今後期待するものは何か。
 - ③ 自立に向けた支援の充実をどのように図っていく考えか。

3. 子どもの幸福を第一に考える教育を

- (1) 特別支援教育の充実をどう図っていくか。
- (2) 教育相談体制の充実をどう図っていくか。
- (3) 「確かな学力の育成」を旨とする学力向上への施策の内容は。
- (4) 体罰といじめの防止に教育委員会としてどのように取り組んでいくか。
- (5) 実りある教員研修をどのように図っていくか。
- (6) 校務改善をどう推進していくか。
- (7) 教育委員会の来年度事業についての意気込みを聞く。

1. 国民保護について

- (1) 平成 19 年 3 月発行の羽村市国民保護計画について
 - ① この計画策定後市民へはどのように広報・啓発したか。
 - ② 策定以降の状況の変化により、検証は行ったか。
- (2) 関係機関との連携について
 - ① 自衛隊とはどうか。
 - ② 警察とはどうか。
 - ③ 消防とはどうか。
- (3) 市民の保護について
 - ① 避難の方法は。
 - ② 平時からの訓練等は考えているか。
- (4) 当市の J アラート（全国瞬時警報システム）の運用状況は。

2 月 26 日

5 人目

4 番

富 永 訓 正
(60 分)

2. 羽村市史発行について

- (1) 発行に至った経緯は。
- (2) 発行に携わる体制は、またその人数は。
- (3) 今まで資料収集を続けてきたわけだが、その成果は。
- (4) 発行までの計画は。
 - ① タイムスケジュールは。
 - ② 発行予定の時期は。
- (5) 内容はどのようなものを考えているか。
- (6) 電子版での発行を考えているか。

3. 商業の振興について

- (1) にぎわい商品券について
 - ① 第 4 弾までの今までの効果は。
 - ② 第 5 弾の発行で工夫した点は。
- (2) 企業活動支援員について
 - ① 活動の状況はどうか。
 - ② その成果はどのようなものがあるか。
- (3) イオンタウン進出について
 - ① 市内商店への影響は。
 - ② 近隣に今までいくつかの大型商業施設が開業したが、当該施設の地元商店への影響はどう分析しているか。
- (4) 「はむら e 市場」の利用状況は。

1. 学校施設の非構造部材の耐震化について

- (1) 東日本大震災以降、校舎及び体育館の非構造部材の耐震検査を市・学校職員が目視で行った結果、「早急に安全対策を必要とする危険箇所はなかった」とされていることについて伺う。
 - ① 有事の際、小中学校 10 校が避難所となるが、非構造部材の目視点検のみで、現状の校舎、体育館の安全が確保されているといえるか。
 - ② 校舎・体育館の窓やガラスは、外れたり割れたりする可能性があると考えられるがいかがか。
 - ③ 天井材、照明器具、窓・ガラス等、破壊、落下、転倒、移動の可能性があるものなどにより、震災時には想定し得なかった被害につながる可能性があると考えられる。被害への可能性がある限り、対策の検討が必要ではないか。
- (2) 非構造部材の点検、耐震基準について
 - ① 点検の基準はなにか。
 - ② 耐震基準の見直しの状況を聞く。
- (3) 国や東京都の事業を活用し、専門技術者による非構造部材の耐震検査・点検を行い、課題や問題点を明確にし、その対策を検討すべきと考えるがいかがか。

2. 高齢者にやさしい支援の充実を

- (1) 介護保険制度がスタートし 13 年が経過しようとしているが、市民、特に高齢者に、よりわかりやすい制度の周知が必要と思われるがいかがか。

2 月 27 日

- (2) 地域包括支援センターがスタートし7年。このセンターの存在が、市民、特に高齢者に知れ渡っていないように見受けられるがどうか。
- (3) 要介護者等の総合相談にて、第五次長期総合計画実施計画では、平成24年度の現況を相談件数3,000件としているが、主な内容を聞く。
- (4) 介護認定を受けていない高齢者への介護予防に関するチェックリストの郵送での調査にて、見えてくる課題や問題点は何かを伺う。
- (5) 市内の高齢者の認知症の人数を伺う。
- (6) 認知症サポーター養成事業の現状と課題を聞く。
- (7) 災害時要援護者の対象者数と現在の登録者数を聞く。
- (8) 東京都などの予算を活用し、地域の高齢者を見守る、見守りサポーターの養成や、ワンストップサービス機能を持たせた見守り拠点となるシルバー交番（相談室）の設置を検討してはどうか。

3. 食物アレルギーの児童・生徒に対する給食管理について

- (1) 調布市でのアナフィラキシーショックによる死亡事故をどのように捉えているか伺う。
- (2) 調布市の事故を受けて、羽村市、教育委員会、学校としてそれぞれどのような対応を行ったか伺う。
- (3) 教職員や、児童・生徒への徹底はどのように行っているか。
- (4) 学校での食物アレルギー児童・生徒に対する給食管理は十分といえるかどうか伺う。
- (5) 学校での食物アレルギーでない児童・生徒に対する給食管理は十分といえるかどうか伺う。
- (6) 学校での食物アレルギーでの事故防止対策を伺う。
- (7) 食物アレルギーでの事故は絶対に起こしてはならないが、今後の取り組みを聞く。

6人目

7番

西川 美佐保
(60分)

1. 女性が活躍できるワーク・ライフ・バランス社会の実現を

- (1) 「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）を男女共同参画推進条例に入れて、前面に位置づけ推進してはどうか。
- (2) 市のあらゆる部署の事業に「ワーク・ライフ・バランス」の視点を取り入れてはどうか。
- (3) 25年度の都の予算に、中小企業のワーク・ライフ・バランス事業への補助事業や中小企業従業員の方を対象に、融資する予算があるが、広く宣伝し推進をしてはどうか。
- (4) 女性が社会で活躍できるスキルを身につけるために
 - ① 専門家による研修会を定期的に開催してはどうか。
 - ② 研修を終えた方などの実践につなげる場として、例えば「児童館」など公共の一部分の運営など場を提供し、女性のリーダーや市民協働の担い手の育成をしてはどうか。

2月27日

③近隣大学や協定している大学などと市が連携し、その女子大生や市内女子大生などが観光やまちづくりなど学習と卒業研究ができる場の提供をしてはどうか。

(5) 子育て支援の充実について

①市の認可保育園保育料とその他の保育所等の保育料に大きな差が生じている。全ての人が安心して預けられるよう保育料を見直し、補助制度を設けてはどうか。

②保育園担当部署に「子育てコンセルジュ（仮称）」の設置、または機能の充実など、より細やかな保育園の相談事業ができるよう充実させてはどうか。

③建設予定のイオンタウンの中に子育て支援のための「子ども支援センター（仮称）」を入れていただくことはできないか。

(6) 防災対策について

①女性消防団員、福生防災女性の会、交通安全推進委員会など女性の増員を目指してはどうか。

②災害時なども女性の活躍は重要であり、広い意味で市の地域防災計画に女性の視点を取り入れる必要がある。兵庫県立男女共同参画センターで大規模災害時の女性の問題をホームページで公開されたが、それを市の防災計画に取り入れてはどうか。

2. 地球温暖化対策と低炭素社会の推進について

(1) 本年6月に開催予定の環境フェスティバルの取り組みはどのように実施していくか。

(2) 市道、公園、庁舎などのLED照明の推進はどのように考えているのか。

(3) 太陽光発電施設など創エネ機器の助成金利用者の現状及び、都がめざすスマートエネルギー都市の実現に向けた今後の取り組みについて伺う。

(4) 都の掲げる事業所向け「賢い節電」7か条の推進と、省エネ・エネルギーマネジメント対策を普及してはどうか。

(5) 今後の緑の創出、芝生化などの推進についての方向性を伺う。

3. 多子家庭の給食費の無料化について

(1) 子育て支援の一環として、3人目の子ども（すべての小中学校の生徒）の給食費を無料化してはどうか。

1. 通学路の安全対策の強化について

(1) 亀岡市で通学中に児童らが車に巻き込まれた死亡事故を受け、国の要請である緊急合同点検、またはそれに準ずる点検はどのような作業をしたのか内容を聞く。

(2) 危険と思われ、対策が必要な箇所はどれくらいあったか。

①交通安全上の対策としての箇所

②防犯上の対策としての箇所

7人目

3番

中嶋 勝
(60分)

2月27日

8 人目

8 番

橋 本 弘 山
(60 分)

- (3) それら対策の進捗状況はどうか。
- (4) 対策の優先順位となる基準はなにか。
- (5) 補正および来年度予算で国や東京都から対策への交付金があると聞くが活用できないか。
- (6) 点検で洗い出された箇所、対策、結果等の情報を広く公表し、市民と共有してはどうか。

2. 市役所西庁舎の耐震・改修工事に関して

- (1) 耐震化工事とそれとともにを行う改修工事の今後の工程および予定を伺う。
- (2) 改修工事の具体的場所と内容を伺う。
- (3) 耐震と改修工事の年度ごとの事業費の内訳はどうなっているか。
- (4) 防災・減災対策の一環等で国や東京都からの補助金等が使えないか。
- (5) LED照明による省エネ対策や太陽光発電等再エネ対策についてはどう進めるか。
- (6) バリアフリー対策についてはどう進めるか。
- (7) 市民サービスや災害対策、また行政改革の観点から各部署の配置等の見直しを同時に考えてはどうか。
- (8) 工事期間において市民への影響を無くするための配慮をどう考えているか。

3. 小作台5丁目の町営住宅跡地の活用について

- (1) 小作台5丁目の町営住宅跡地の有効的活用についての考えを伺う。

1. 高齢者自動車免許証返納制度への支援について

- (1) 福生警察署管内での最近の65歳以上の交通事故死傷者数の状況はどうか。
- (2) 都内と比較してどうか。
- (3) 高齢者運転免許証返納について羽村市はどのような見解を持っているか。
- (4) 免許証の返納者に交付する「運転経歴証明書」とはどのようなものか。
- (5) 返納しやすい環境づくりとしてどのような支援が考えられるか。
 - ① 自動車に代わる交通機関の確保について
 - ② 地元商店等の活性化を図るために市内商業者等と連携した特典制度等を設けてみてはどうか。
 - ③ 羽村市と警察との協力で取り組める施策は。
- (6) 高齢化社会に向けて、今後交通事故対策にどのように取り組んでいくのか。

2. 農産物の市内販路の拡充について

- (1) 羽村市農産物直売所の売上向上について
 - ① 売上減少の要因は。
 - ② 端境期の品薄状況への対策は。
 - ③ 売上向上にどのように取り組んでいくのか。
- (2) 学校給食における地元農作物の利用割合を上げる方策について
 - ① 過去の利用割合の推移は。
 - ② 利用割合を上げるために行政が支援できることは何か。

2月27日

9 人目	2 番	富 松 崇 (40 分)	<p>(3) 農家と市内飲食店等とのマッチングについて</p> <p>①羽村市商工会との連携は。</p> <p>②過去にどのような取り組みがなされたか。</p> <p>(4) 農産物の生産量はどうか変化しているか。</p> <p>①過去のデータを把握しているか。</p> <p>②そのデータをどう分析しているか。</p> <p>③援農ボランティアの現況と課題は。</p> <p>④生産性を上げていくためには何が必要か。</p> <p>(5) 今後、農産物の市内販路拡充支援にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(6) 農業という産業を将来的なまちづくりや商工業を含む政策における観点からどのように位置づけていくのか。</p>	2 月 27 日
10 人目	5 番	鈴 木 拓 也 (60 分)	<p>1. 次世代に羽村のまちづくりを引き継ぐために</p> <p>(1) 町内会・自治会に加入している世帯の年代別加入率は。</p> <p>(2) 市で設置しているさまざまな審議会等があると思うが、各審議会の年齢構成は。</p> <p>(3) 羽村を活力ある街にするためには、幅広い年代層からの考えを取り込む必要があると思うが、市の考えは。</p> <p>(4) 市政世論調査で市政への参加・協働意向で参加をためらっている、わからないが上位を占めているが、市ではどのように考えているか。</p> <p>(5) これからの街づくりを考える中で今後、中心となっていく現役世代の方に市政への興味・関心を持ってもらい積極的に参画してもらう事が重要だと思うが、市の考えは。</p> <p>(6) 生涯学習基本計画に「羽村に親しむ」「羽村にかかわる」「羽村の明日をつくる」をテーマとした「羽村学」を有効に活用し、すべてのライフステージで郷土“はむら”を学び活かしていくとあるが、今後、現役世代に対してどのような事業を行っていくのか。</p> <p>(7) これから街づくりを引き継ぐ次世代の人材を育てていく事も重要だと思うが、市の考えは。</p>	2 月 28 日
			<p>1. 自然エネルギーの一層の普及に取り組もう</p> <p>(1) 羽村堰、小作堰での小水力発電について</p> <p>①水量などの条件から、実現の可能性はあると考えるが、どうか。</p> <p>②東京都へ積極的に実現にむけた検討など、働きかけをおこなうべきではないか。</p> <p>(2) 太陽光パネルの一層の普及について</p> <p>①太陽光パネル補助金への申し込み状況はどうだったか。対象件数を増やすことが必要ではないか。</p> <p>②太陽光パネルの市内での設置状況はどうなっているのか。</p>	

③世田谷区がおこなった一括購入による安価な提供を周辺自治体とともに取り組んではどうか。

(3) 省エネの推進について

①公共施設、道路などでの省エネ機器の設置状況はどうか。どう広げていく計画か。

②省エネエコポイント制度の申し込み、利用状況はどうだったか。

(4) 電気自動車の普及などについて

①電気自動車の普及促進のため、電気バスはむらんスタンドの一般利用をおこなってはどうか。

②環境配慮型トラック購入費助成事業はどういう内容か。

③自然エネルギー相談事業を始めてはどうか。

④第一回環境フェスティバルの教訓と、次回以降はどう取り組む考えか。

2. 生活保護はどうなっているか

(1) 生活保護受給者の実態について

①生活保護者のうち、高齢者、障害者、傷病者の割合はそれぞれ何%か。

②単身者の割合、子どもを持つ家庭の割合はそれぞれ何%か。

③「貧困の連鎖」が指摘されているが、羽村市ではどうそれが表れているか。

(2) 捕捉率について

①今年度、生活保護について相談があった人のうち、何%が受給にいたったか。

②受給にいたらなかった人の理由で、多い順で上位5位の理由は何か。

(3) 不正受給について

①今年度の不正受給の件数、金額、全体での%はいくらか。最近10年間の推移はどうか。

②「子どものアルバイト代の申請をうっかり忘れた」など悪意が無いケースが多いと想像するが実態はどうか。

(4) 無料低額宿泊施設の利用について

①現在の利用者は何名か。平均利用期間はどうか。

(5) 他自治体との比較について

①羽村市は周辺自治体と比べて、生活保護費が低いと聞くが、金額でどの位違うのか。

(6) 国の生活保護費引き下げ方針の影響について

①生活保護費の引き下げにより、影響を受ける施策は何があり、どういった影響になるのか。

3. 学校給食でのアレルギー除去食の実施にむけて

(1) 学校での実施にむけた課題、方針について

①給食センターではアレルギー除去食を提供する設備はすでに整っていると聞く。実施に至らないのは、学校現場で事故への不安や対応の難しさなどがあるのではないかと考えるが、実態はどうか。どういった課題があるか。教育委員会としては、実施にむけてどういう方針で取り組んでいく考えか。

11 人目

15 番

水 野 義 裕
(60 分)

1. 平成 25 年度予算案について

- (1) 各部署からの予算要求額はどれくらいであったか。また査定の段階ごとの規模はどのように変わっていったか。
- (2) 各部署からの予算要求額から大幅に変更された事業にはどんなものがあるか。変更予算額の大きいもの・変動比率の大きいものについて、増減それぞれ上位 3 事業は。また、カットされたものにはどんなものがあるか。また、その理由は何か。
- (3) 予算額の根拠となる数字は、長期総合計画の実施計画や予算案説明書に記述されているものもあるが、さらに公開すべきではないか。例えば、事務報告書にあるような記述など。
- (4) 市民への説明責任を果たす意味で、予算編成の過程を公開している自治体が増えてきているが、市の考えは。
- (5) 臨時財政対策債に頼らざるを得ない状況にある。
- ① 市債残高のうち、臨時財政対策債の残高はいくらか。
 - ② その返済について、市はどう考えているか。

2. 市が発行する文書の管理などについて

- (1) 文書の管理体制はどうか。
- (2) 様々な計画書・報告書が作られているが、それらはどのように体系づけられ、管理されているか。
- (3) 外部に提供する文書について
- ① 年間どれくらいの文書が作られているか。
 - ② 文書には、管理番号や作成日付、主管部署、ほかの文書との関連などを明記し、市民に分かりやすくすべきと考えるがどうか。
- (4) いわゆる白書という類のものは、財政白書以外にどんなものがあるか。
- (5) 財政白書には、課題の指摘はあるが、それにどう対応していこうとしているかがかけていると考える。白書というのなら、対応についても記述すべきと考えるがどうか。

3. 定員管理適正化計画について

- (1) 部門別の職員割合で、26 市平均に比べ、総務部門が 10% 近く高く、教育部門で 5% 低いのは、何によると考えているか。
- (2) 年齢構成の平準化の必要性を述べながら、平成 25 年、26 年の採用が極端に少ないのはおかしい。計画を見直すべきではないか。
- (3) 重点取り組みの最初に、多様な雇用形態とアウトソーシングが挙げられている。アウトソーシングについては、その事業の必然性をきちんと評価したうえで検討すべきと考えるがどうか。

2 月 28 日

12 人目

17 番

門 間 淑 子
(60 分)

1. 公有財産の活用の抜本の見直しを

- (1) 普通財産について
- ① 商工会への土地の貸し付けは、一度の更新で

2 月 28 日

13 人目

11 番

馳 平 耕 三
(60 分)

- 半世紀を越えている。長期総合計画と整合する契約制度に見直すべきではないか。
- ②商工会以外の貸し付けについて、今まで検証されたことはあるか。
 - ③羽村駅西口地区整備用地は、24 年度末でどれほどか。
 - ④整備用地を期間を区切って駐車場など活用すべきと考えるが、どうか。
- (2) 行政財産について
- ①公共施設における貸し付け方式による飲料自動販売機の設置は、平成 23 年度事務報告書では 8 施設 20 台とあるが、その後の変化はあるか。
 - ②従前から設置してきた自動販売機も、貸し付け方式に切り替えるべきと考えるが、どうか。
 - ③一部の団体に自動販売機からの収益が入っている状況を、どのように捉えているか。
- (3) 公共資産総合計画を策定するとあるが、どのような計画になるのか。
- (4) 公有財産に関する条例・規則の改正も必要だが、どのように考えているか。
- 2. PPS からの電力購入継続を**
- (1) 市内 13 施設の購入契約が 3 月 31 日で終了するが、継続契約すべきだが、現状はどうか。
 - (2) さらに PPS からの電力購入を拡大すべきだが、今後の取り組みはどうか。
 - (3) 東京電力が国会事故調査委員会に福島原発事故に虚偽説明をしたことが国会で取り上げられている。原発事故は羽村市にも影響を及ぼしている。東京電力は、適正な契約先とは言えないと考えるが、市長の見解を伺う。
- 1. 羽村市の経常収支比率が高い理由を分析し対策を講じるべき**
- (1) 臨時財政対策債を含めた経常収支比率は東京 26 市中何番目に高いか。
 - (2) 羽村市の、臨時財政対策債を含めた経常収支比率が高い理由をどう分析しているか。
 - (3) 臨時財政対策債を含めた経常収支比率を市長がリーダーシップをとって削減すべきと考えるが、いつまでにどのくらいまで削減する考えか。
 - (4) 削減のための具体的対策をどう考えているか。
- 2. 教育の諸課題について問う**
- (1) 羽村三学の一つとして行われていた、小学校 5 年生の稲作体験が、今後、学校ではできなくなると聞いた。その経緯と今後の対応について問う。
 - (2) 各学校の教室に設置されているテレビは、どのように使用されているか。
 - (3) 文部科学省は、土曜日の授業復活の検討をはじめたが、羽村市教育委員会や各小学校では、今後の土曜日のありかたについてどう考えているか。
 - (4) 親学の効果について、親や子ども達からどのような報告があるか。

2 月 28 日

14 人目

9 番

山 崎 陽 一
(60 分)

3. 路上喫煙、たばこ等ごみのポイ捨て、飼い犬のふんの放置を規制する条例制定後の現状を問う

- (1) 条例制定後、路上喫煙、ポイ捨て、飼い犬のふん等はどの程度減ったか。
- (2) 違反者には過料を処すことができるが、これまで過料処分となった事例は何件あったか。
- (3) 駅周辺では、喫煙場所が指定されているが、商店や地域会館の前での喫煙は、迷惑だという声もあるが改善できないか。

1. 区画整理撤回要求 第 24 弾

- (1) 広すぎる道路計画を聞く。
 - ① 羽村市内の都市計画道路計画および都道整備計画は。
 - ② 東京都第三次道路事業化計画と羽村市の関係は。
 - ③ 羽村大橋拡幅計画と区画整理の関連を聞く。
- (2) 無駄な区画整理事業を検証する。
 - ① エリアマネジメントの調査・検討結果を聞く。
 - ② ウッドチップ歩道のアンケート結果の内容を聞く。
 - ③ 換地設計案の作業状況を聞く。
 - ④ 区画整理審議会を公開すべきではないか。
 - ⑤ 換地設計を決定するとしたらいつ頃か。
 - ⑥ 意見書を受け付けるが、どう事業計画変更に反映させるのか。
 - ⑦ 事業計画変更の作業時期と、公告・縦覧はいつ頃を考えているか。
 - ⑧ 事業計画変更で施行範囲、資金計画、事業期間、実施計画を明確にできるか。
 - ⑨ 25 年度の事業委託費の内訳を聞く。
 - ⑩ 26 年度の事業費予定と事業内容を聞く。
 - ⑪ 27 年度の事業費予定と事業内容を聞く。
- (3) 都市計画変更の情報開示を進めよ。
 - ① 稲荷緑地都市計画変更は、市ホームページに掲載されなかった、なぜか。
 - ② 「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」に沿っているか。
 - ③ 都市計画手続きの電子化を進めるべき。国土交通省も推進している。
 - ④ デジタルでの公告・縦覧の情報提供、意見書の提出は可能か。

2 月 28 日